

## 18 麻酔科フェロー研修要綱

指導責任者 宮津 光範

対象：ある程度の成人麻酔業務を経験し、これから新たに小児麻酔を勉強したい麻酔科専攻医。応募者多数の場合は、将来に渡って小児麻酔をサブスペシャリティーとする覚悟と決意のある者を優先する。

目標：

1. 小児麻酔および産科麻酔における周術期管理能力を身につけること。
2. 麻酔シミュレーションを中心とした **off the job** トレーニングにより、小児麻酔における危機的状況に対処する能力を身につけること。
3. 臨床研究の実施と英文論文執筆を行うこと。

カリキュラム

### 1. 術前診察と麻酔計画

出生・生育歴及び併存疾患を確実に把握した上で適切な術前評価ができるようになる。小児の発達段階における違いを十分に理解した上で、指導医とともに麻酔計画を立案し、安全に麻酔管理を行うことができるようになる。

### 2. 小児麻酔全般および基本的手技

小児麻酔の基本であるマスク換気、声門上器具挿入、気管挿管および血管確保手技を身につける。仙骨硬膜外麻酔、エコーガイド下中心静脈穿刺や末梢神経ブロックを安全に施行できるようになる。

### 3. 小児心臓麻酔および周術期管理

先天性心疾患の発生学を学び、解剖及び病態生理を理解する。短期的および長期的治療戦略を理解し、周術期管理に参加する。術中経食道エコーに関しては特に

力を入れて教育している。実際にエコーを操作して、小児循環器科医および心臓外科医と対等に議論できるまでの知識と診断能力を身につけることを目標とする。術後管理は小児集中治療科が行うが、麻酔科内にも集中治療専門医が在籍しており、PICUでの術後管理を見据えた上での、一貫性のある麻酔・周術期管理を行えるようになることを目指す。希望者はPICUでの研修も可能である。

#### 4. 周産期麻酔

帝王切開術の麻酔、硬膜外無痛分娩の管理および周産期対応を学ぶ。新生児の特性を理解した上で、新生児麻酔を安全に施行できるようになる。

#### 5. 教育

最新の高機能シミュレータ（高忠実度マネキン）を用いた麻酔シミュレーション、ケースカンファレンスの組み合わせによる体系的な *off the job* トレーニングプログラムを毎月実施している。フェローは臨床業務を外れて状態で受講が可能である。他施設と連携したオンラインジャーナルクラブを主催し、フェローは発表者となる。オンラインの生物統計レクチャー（当センター主催）を毎月受講する。その他、指導医らによる系統レクチャー、フェロー主体の英語教科書輪読発表勉強会など、多数行われている。

#### 6. 研究

指導医とともに臨床研究を行い、英文での論文執筆を行う。統計の専門家、臨床研究の専門家が麻酔科に在籍しており、英文執筆指導も含め手厚い指導が受けられる。

#### 7. フェロー終了後

スタッフとして当センターに残り、さらなる研鑽を積みながら指導的立場となることを目指す。その他、海外の小児病院への臨床留学、国内小児病院への移籍、臨床研究で *PhD* 取得を目指す連携大学院（当センター内）への進学、*MPH* や *MBA* などの修士課程への進学の実績がある。